

2019年度事業計画書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

特定非営利活動法人大学経営協会

1. 事業実施の方針

(1) 新規会員の増加と協会の活動充実策の検討

多くの会員の皆様の参画を得て、様々なご意見やご提言を活動に反映するため、引続き会員の増加に努めます。また、大学の抱える経営課題の解決に対応できるような協会活動の展開に鋭意取り組んでいきます。

(2) ホームページ・協会概要パンフレットの充実

委員会活動やセミナー開催情報など協会の活動状況などについて積極的な情報発信に努めます。

(3) ガバナンス委員会の活動

昨年度に続き「教員評価と処遇への反映」を主たるテーマとし、先進大学の事例収集、先進大学との意見交換を行い、教員評価と処遇に当たっての留意事項や先進事例などを盛り込んだ報告書を取りまとめます。また、審議状況に応じて会員が参加できる拡大委員会を昨年度に続いて開催いたします。

(4) 財務委員会の活動

当面のテーマは、財源の多様化を図る観点から取り上げ、審議する予定です。また、審議状況に応じて会員が参加できる拡大委員会を開催します。

(5) 100年委員会の活動

当面は大学の経営戦略をどのように考えるべきか、または大学の学びの在り方について、委員による発表および自由討議を行い、取り組むべき課題を絞り込む予定です。また、審議状況に応じて会員が参加できる拡大委員会を開催し、年度末には「人生100年時代における大学の在り方」について中間報告が出来ることを目指します。

(6) 大学経営に関する講演・セミナーの開催

各大学の執行部（理事長・学長、副学長、理事、事務局長等）が的確な意思決定やマネジメントが出来るよう、ガバナンス委員会、財務委員会での審議結果ならびに大学を巡る状況を踏まえた講演など、大学経営に関するセミナーを開催します。

（例～大学を巡る動向（文科省講演）、資産運用、教員の評価と処遇 など）